

## 不凍式消火栓

MT

## 施工・取扱説明書

保証書付



- この度は、不凍式消火栓をお求めいただき、まことにありがとうございます。この施工・取扱説明書をよくお読みいただき正しく施工し、お使い下さい。
  - 本製品は、水抜きハンドルを操作することにより、立上り管内の水を排出し、凍結を防止する機能を持った消火栓です。
  - この施工・取扱説明書には、保証書が付いておりますので大切に保管して下さい。
- 施工・取扱説明書の記載内容および製品の仕様は、品質改良のため予告なしに変更する場合があります。

## 安全上のご注意




ここに示した警告および注意は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して正しく施工し、お使い下さい。

## ■安全表示について

危害、損害の程度を警告・注意に分けて表示しています。

 <b>警告</b>	人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示します。
 <b>注意</b>	火傷やけがを負う恐れや物的損害が発生する恐れがあることを示します。

## 図記号の種類と意味

 <b>○</b>	してはいけないこと。(行為の禁止)
 <b>△</b>	注意すること。(注意の喚起)
 <b>●</b>	必ず行うこと。(行為の強制・指示)

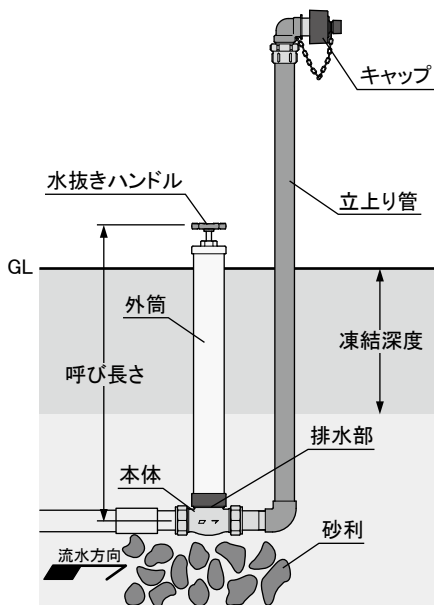
## △ 注意

- 器具を分解しないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- 落下等による衝撃を与えないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- 火気や熱源を近づけないで下さい。部品の劣化や変形により、作動不良の原因になります。
- 保護キャップは配管直前まではずさないで下さい。異物が混入し、作動不良の原因になります。
- ベンジン・シンナー・トルエン等の有機溶剤入りの洗剤は使用しないで下さい。塗装が剥がれたり、印刷が消えたり、部品が溶ける恐れがあります。
- ステンレス配管を接続する際は、絶縁処理を適切におこなって下さい。電気腐食の恐れがあります。
- 管軸に対して操作部を垂直・上向きに施工して下さい。作動不良の原因になります。
- 作業時は保護具を使用して下さい。けがをする恐れがあります。
- 排水部を凍結深度以下に設置して下さい。埋設が浅いと凍結・破損し、漏水の恐れがあります。
- 排水部周辺は、砂利・碎石等を用いて、水はけをよくして下さい。水はけが悪いと凍結・破損し、漏水したり、外筒から抜いた水があふれる恐れがあります。
- 接続は、本体の矢印方向と配管の流水方向を合わせて下さい。方向が合っていないと凍結・破損し、漏水の恐れがあります。
- 水抜きハンドルが確実に回せる空間を確保して下さい。水抜きハンドルが確実に回せないと、凍結・破損し、漏水の恐れがあります。
- 水抜きハンドルは全閉・全開にしてお使いください。
- 弁室内に施工する場合は、ハンドル操作が容易にできる空間を確保し、水はけを良くして下さい。
- 床下に施工する場合は必ず付近に点検口を設けて下さい。メンテナンスが困難になります。
- 施工前、配管接続部の清掃をおこない砂・ゴミ等の異物を排出して下さい。異物によって損傷・破損し、漏水の恐れがあります。
- 施工後、配管内の洗浄をおこない砂・ゴミ等の異物を排出して下さい。異物によって損傷・破損し、漏水の恐れがあります。
- 仕様の範囲内でお使い下さい。範囲外での使用は、器具の破損や性能劣化等の恐れがあります。

# MT消火栓施工例と各部名称

## ■仕様

使用流体	水道水
使用温度	35℃以下
使用圧力	1.0MPa{10.2kgf/cm <sup>2</sup> }以下

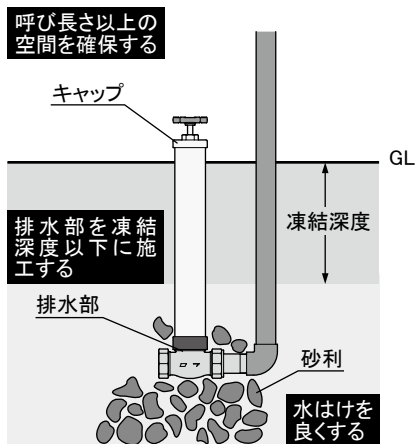


## 施工方法

### 1. 配管前に…

- ①メンテナンスのため、上部に立上り管一式(内部構造)が抜き出せる場所を選んで下さい。
- ②メンテナンスのため、キャップを地上に出して施工して下さい。
- ③排水部を必ず凍結深度以下に施工して下さい。
- ④水を抜いた時、排水が確実に浸透する施工をおこなって下さい。

- ❗ 排水部をふさがない
- ❗ 砂利等を使用する

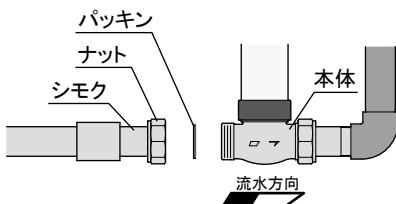


## 2. 配管との接続

- ①配管種類に合わせて、シモク・ナット、継手等を工具で取り付けます。
- ②本体の流水方向を確認して、ナットにパッキンを入れ工具を使って締め付け、本体と接続します。

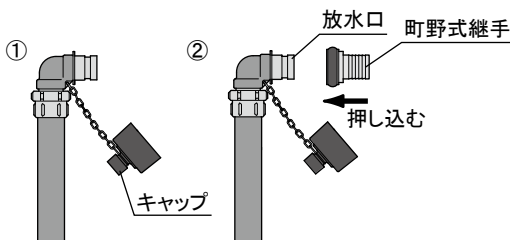
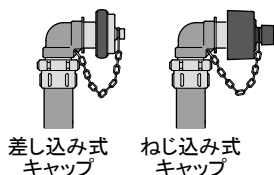
配管接続：平行おねじ

❗ 配管接続部を清掃する



## 継手の接続

- ①キャップをはずします。
- ②町野式継手を接続します。



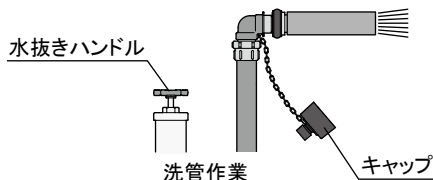
## 洗管と作動確認

### ■洗管

施工後、水を流して配管の洗浄をおこなって下さい。

### ■作動確認

洗管後、水抜きハンドルを操作して水が抜ける(排水する)ことを確認して下さい。



## 操作方法

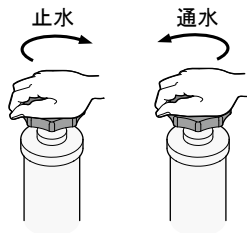
### ■水抜き操作(凍結防止)

ハンドルを"S"方向(右回り)に止まるまで回します。

❗ 水抜き操作後、必ずホースを放水口からははず

### ■通水操作

- ①キャップをはずし、ホースを接続します。
- ②ハンドルを"O"方向(左回り)に止まるまで回します。(通水状態になります)



# 保証書

※型式	MT		
※保証期間	施工日( 年 月 日)より2年間		
※お客様	氏名	様	
	住所		
	電話番号	( )	
※取扱店 及び 工事店			

取扱店及び工事店様へ：※印欄は必ず記入してお渡ください。

## <保証規定>

- 1.施工・取扱説明書に従った正常な状態で、保証期間内に故障した場合は、施工工事店または弊社が無料修理致します。
- 2.保証期間内に故障が発生した場合は、施工工事店にご依頼いただき、本書をご提示下さい。
- 3.保証期間内でも、次の場合は有料となります。
  - ①施工・使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
  - ②お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
  - ③火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、特別な環境等による故障および損傷。
  - ④製品の凍結による故障および損傷。
  - ⑤本書の提示がない場合。
  - ⑥本書に施工年月日・お客様名・取扱店及び工事店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 4.保証期間を過ぎてから修理をご依頼になる場合も、本書をご提示下さい。
- 5.本書は再発行いたしません。大切に保管して下さい。

本書はここに明示した期間・条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。

**株式会社 竹村製作所**

本社/〒381-0017 長野県長野市小島127

## お問い合わせ先

■お問い合わせのときには最寄の支店・営業所まで次のことをご知らせ下さい。

- ・製品名
- ・詳しい状況、内容
- ・その他、お気づきになられたこと
- ・施工日
- ・氏名、住所、電話番号

**株式会社 竹村製作所**

支店・営業所／札幌・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・福島・北関東・新潟・長野・甲府  
ホームページアドレス <https://www.takemura-ss.com>

お客様ご相談窓口

フライング

イーナフター



0120-107210

月～金 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00